

事務事業名	南アルプス市学校応援団育成事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12127				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	南アルプス教育推進課	課長名	小田切 雅裕				
			所属担当	教育指導担当	担当者名	笹本 忠彦				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	23	学校教育の充実	事業区分	01	一般	10	01	02	020	32
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進し、教員の子どもと向き合う時間の増加、地域住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図る。中学校区ごと7ブロックに分け学校応援団を組織し、それぞれの応援団に活動の中心となるコーディネーターを配置、コーディネーターはボランティアの募集、ボランティア人材バンク作成及び学校のニーズに応じたボランティアを派遣する事業である。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				報償費	734					
			旅費	9						
			消耗品費	80						
			役員費	196						
					計					1,019

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない									
25年度活動実績	地域のボランティア活動を学校現場に活用し、学校現場のニーズを把握しそれに対応できるボランティアの派遣をする。	⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア学校支援地域本部</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>イ実行委員会</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ研修会</td><td>回</td></tr> </table>	名称	単位	ア学校支援地域本部	ヶ所	イ実行委員会	回	ウ研修会	回
名称	単位										
ア学校支援地域本部	ヶ所										
イ実行委員会	回										
ウ研修会	回										
26年度活動予定	学校現場の要請を把握し、地域のボランティアを募りながら、対応可能なボランティアを派遣する。										
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない									
市内小中学校 ボランティア		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア参加人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア参加人数	人	イ		ウ	
名称	単位										
ア参加人数	人										
イ											
ウ											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない									
各学校の希望により、ボランティアの派遣を行う。		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>アボランティア活動回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	アボランティア活動回数	回	イ		ウ	
名称	単位										
アボランティア活動回数	回										
イ											
ウ											
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない									
地域ぐるみで学校教育の支援を行う。		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア学校満足度</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア学校満足度	%	イ			
名称	単位										
ア学校満足度	%										
イ											

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円								
		千円								
		千円								
		千円								
		千円	586	1,081	1,019	1,000	800	800		
		千円	586	1,081	1,019	1,000	800	800	0	
人件費	正規職員従事人数	人								
	延べ業務時間	時間								
(A)+(B)	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	千円	586	1,081	1,019	1,000	800	800	0		
活動指標	ア	ヶ所	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	
	イ	回	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
	ウ	回	6.0	6.0	6.0	4.0	4.0	4.0		
対象指標	ア	人	800.0	900.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0		
	イ									
	ウ									
成果指標	ア	回	5,000.0	6,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0		
	イ									
	ウ									
上位成果指標	ア	%	55.0	60.0	70.0	70.0	70.0	70.0		
	イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成21年度市内全中学校区において、学校の教育活動に地域人材を導入して学校の教育活動を支援するために取り組みが始まった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	学校の多忙化が進み、また、きめ細かな指導を必要とする児童・生徒が増えている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	ボランティアの有効活用。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	地域に住む様々な活動をするボランティアに学校教育活動において、支援をお願いしている。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	コーディネーターやボランティアへの活動参加や登録への呼びかけ

事務事業名	南アルプス市学校応援団育成事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	-----------------	-----	-------	-----	------------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 「生きる力」を育む学校教育の推進に関わり、学校教育と地域との連携を進めている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 学校・地域住民・行政の連携が必要である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 学校・地域住民・行政の連携が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 ボランティアが出来る範囲の活動がすでに様々な現場において出来ているため
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 現時点では、他事業との連携が出来ていない。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ボランティアの派遣が行えない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 ボランティアの派遣が行えない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 将来的には、報償費の減額は検討の余地はあるが、体制づくりや地域教育力の活性化を図るまでには時間が必要と思われる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 将来的には、報償費の減額は検討の余地はあるが、体制づくりや地域教育力の活性化を図るまでには時間が必要と思われる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市として学校教育への支援であり、自己負担を求めるものではない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域の人材活用は必要であるが、他事業との連携や統合を今後検討していく必要性は出てきている。学校現場の負担や他部局との連携を模索していく。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 将来的には、地域との連携の中で、学校独自のシステム作りに移行していく趣旨を随時周知していく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 学校を中心とした組織作り、または仕組みを検討していく。他部局との連携についても検討の必要性が出てきている。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					